

# 南アルプス市立豊小学校 平成27年度前期学校関係者評価書

平成27年9月30日  
豊小学校学校関係者評価委員会  
委員長 梅本 澄雄



## 【第2回 学校関係者評価委員会】

- 1 実施日 平成27年9月17日（木）午後4時30分から午後6時まで
- 2 会場 豊小学校校長室
- 3 参加者

### (1) 学校関係者評価委員（都合により2名欠席）

No.	氏名	役職名	備考
1	梅本 澄雄	元本校校長	学校関係者評価委員長
2	齊藤 尚子	元本校校長	学校関係者評価副委員長
3	中嶋 正	豊地区自治会会長	地域代表
4	津久井豊徳	元櫛形中学校校長	学識経験者
5	前田 友也	平成27年度PTA会長	保護者代表

### (2) 学校職員（3名）

No.	氏名	役職名	備考
1	渡辺 寿子	校長	
2	名取 昭彦	教頭	事務局
3	丸山 哲也	教務主任	

## 4 学校から提案された内容

- (1) 教職員による前期自己評価アンケートの状況
- (2) 学校生活に関する前期児童アンケートの状況
- (3) 豊小学校前期自己評価書（アンケートの分析及び改善方策について）

## 5 協議内容・意見

### ○豊小学校前期自己評価書に対する考察

（教職員・児童アンケートの考察／改善方策に対する検証）

#### (1) 教育目標について

- ・学校教育目標や学校経営方針が明確に示され、「めざす豊の子像」や「教師のテーマ」及び5つの重点項目が盛り込まれ、「確かな学力」「しなやかな心・健やかな体」「環境整備」などについて共通理解を図り、それらをPTA総会や通信等で伝えているので、保護者や地域にも浸透していると思われる。今後、行事等を通してさらに理解を深めてもらうとよい。
- ・教職員間において、学校教育方針の共通理解を図り、組織として教育活動・学校運営に今後も励んでほしい。

#### (2) 学校経営・組織について

- ・学校長の学校経営方針のもとに、教職員一人一人の持ち味を生かしたり、組織として対応したりしながら、児童一人一人が尊重される学校・学級づくりに励んでもらいたい。
- ・今年度は、スクールカウンセラーの配置がなくなる中、特性をもった児童の対応にあたり、外部の専門機関と連携して取り組んでいることは、児童にとっても、保護者にとっても大切なことである。スクールカウンセラーの再配置の要求をお願いしたらど

うか。

### (3) 学習指導について

- ・今後も児童が、学ぶ喜び・わかる楽しさが実感できる授業改善につなげていってほしい。「家庭学習がんばろう週間」などの取り組みを通して、成果を上げていることが教職員アンケートと児童アンケートの数字からも分かる。また、自主学習に積極的に取り組む児童が増えていることはよいことである。その陰には、保護者の協力がありことを忘れてはならない。
- ・6年生が行っている養蚕は、豊小学校の特色の一つになっている。地域の歴史を学ぶ機会にもなるし、道徳とも関連して命の大切さを学ぶ教材にもなり得るだろう。

### (4) 道徳について

- ・本市の教育の特色の一つである「小笠原流礼法」の礼儀作法を師範から体験的に学び、生活や行事の中に活かしていくことが大切である。礼儀指導は、心の教育にもつながり、とても大切である。
- ・QUの結果を分析し、クラスづくり・仲間関係を見直し、状況に応じた取り組みを通して、児童一人一人の支援につなげていってほしい。

### (5) 特別活動について

- ・児童会活動を中核にあいさつ運動に取り組み、ゆっくりではあるが、成果が上がってきているようなので、今後も取り組みと評価に工夫を凝らし、あいさつ運動を推進してほしい。今日学校に来たとき、下校中の児童の多くが、元気よくあいさつしてくれた。
- ・沢登地区に古くから伝わる「切子」に取り組んでいることと、「蚕の飼育」の継続的に取り組んでいることは素晴らしい。生き物を育てる体験は、「命の学習」にもつながり、大切である。

### (6) 学校行事

- ・行事のねらいや児童につけさせたい力を明確にして、普段の生活や学習で得たことを活かせる行事をつくり、児童の達成感や成就感につなげてほしい。

### (7) 生徒指導・生活指導について

- ・あいさつは相手の存在を認めることであり、また、コミュニケーションの入口でもあり、学年や年齢に応じた根気強い取り組みで少しずつできるようになっていくだろう。
- ・小学生の暴力行為が増加していると新聞に掲載されていたが、自分の気持ちを相手に言葉でうまく表現できない児童もいるようだ。その子に寄り添う指導とポツリポツリとした表現でも、ゆっくり待つ聞いてあげることも大切である。

### (8) 勤務について

- ・早朝から勤務したり、休日も学校に来て仕事をしたりしている職員もいるようだが、健康には十分留意し職務に励んでもらいたい。大変忙しいとは思いますが、児童と接する時間の確保も大切である。

### (9) P T A・地域社会について

- ・各自治会長も学校と協力し、地区の環境整備に努め、協力したい。
- ・今後も学校・家庭(保護者)・地域・教育委員会が連携して児童の育成にあたる情報提供や協力体制を築いてほしい。

## 6 今後の課題

### (1) 学習指導について

- ・校内研究で取り組んでいる「学び合い、高め合う授業」の研究を充実させて、児童一人一人が自分の考えをもち、安心して発言できるようなクラスづくりと工夫した取り組みにより「確かな学力」の育成につなげる。

- ・朝学習や授業の中で、課題と思われる領域や問題を意図的に取り上げ、課題克服につながる。

## (2) 道徳について

- ・明るく積極的なあいさつができるように、児童会の取り組みも含め、継続的な取り組みが必要に思う。年齢や学年に応じて取り組み方法を考え、自己表現力の向上につながる。

## (3) 生徒指導について

- ・「いじめは絶対許さない」を学校全体の合言葉として、さらに生徒指導の徹底を図る。
- ・問題や課題は一人で抱え込まないで、みんなで組織として取り組むことが大切である。特に管理職にあっては、子ども一人一人と職員にも声を掛け、豊小全体として取り組む中核であってほしい。